

【第 36 回】尼崎市新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 議事録

日 時：令和 4 年 5 月 31 日（火）13 時 15 分～13 時 30 分

場 所：web 方式による会議

1 開会

市長：今日は急遽ですが、コロナ対策本部員会議を行いたいと思います。県の方で会議が行われたということで、その内容の情報共有と、市の感染状況等についても情報共有したいと思いますので、宜しくお願い致します。まず初めに、市内の発生状況について保健所の方から宜しくお願い致します。

2 市内の発生状況等について

事務局（新型コロナウイルス調整担当）：簡単にご説明させていただきますが、4 ページ 1 つ目の表ですが、今週と先週の陽性者数を比較しております。今回、5 月 26 日まで 900 人で 1 週間の平均 1 日平均ですと 130 人程度までおちてきているところでございます。2 つ目の表ですが、入院宿泊時の自宅療養者ほとんどの方が自宅療養となっております。下のグラフでございます。直近の患者推移というところでございますが、1 日あたりで比較しますと、1 番多かった 2 月 2 日が 783 人でしたが、5 月 26 日で 143 人ということでピーク時と比べますと 5 分の 1 程度となっております。

次に 5 ページをお願いします。5 ページについては第 6 波の 10 月 29 日から 5 月 26 日までの 1 週間の陽性者数等についてまとめています。

②本市における年齢別陽性者数のところで、30 歳代が第 6 波でも 63% ですが直近でも 63%。計の上の 60 歳代の計のところ、第 6 波で 12% でありましたが、直近では、15% とクラスター等の影響がありますと、この辺が増えてきます。

2 のクラスターの発生状況については、第 4 波、第 5 波、第 6 波という形で簡単にまとめてさせていただきます。

6 ページからは、第 6 波の状況ということで、下のグラフを県のグラフを参考に作らせていただきました。

8 ページの方をお願いします。8 ページですが、各波の年代別死亡率についてですが、第 5 波は特に亡くなられた方は 7 人で 0.13% と少なかったのですが、第 6 波も今の状況を見ると 195 人で 0.13% と同様に低い状況になっております。第 4 波と第 5 波では、アルファとデルタというところがあるかと思いますが、ここでワクチンの効果等もあって減っているのかと思います。

9 ページについては、ご清覧いただければと思います

市長：ありがとうございます。特に質問等ございませんか。死亡率が高くない、重症化例も少ないということで、ありがたいことなのですが、それに伴いまして感染者数が十分に減りきっていないけれども、対応の方も変えていくということで国、県の方でも少し変更が出ていることかと認識しております。

3 兵庫県対処方針を踏まえた本市の対応について

では兵庫県の対処方針の変更点について、事務局の方から説明お願い致します。

事務局（災害対策課）：では1ページの資料1の方をお願い致します。マスクの着用についての県の方針となります。マスクの着用の基本的な考え方の欄では、対話を行う場合、行わない場合、身体的距離の確保や、屋内や屋外のケースに当てはめまして着用の必要性等が整理されている資料となっております。

2の欄では、小学校就学前の児童のマスクの着用に関する考え方。3の欄では学校等での生徒のマスクの着用について記載されておりますのでご清覧の方をお願い致します。

続きまして2ページの資料2の方をご清覧ください。

資料2は、県独自措置の一部緩和の内容となります。表中の右の欄ですが、期間は6月1日から。また表の中ほどの飲食店の認証店舗におきましては、これまでの同一テーブル、4人以内、短時間（2時間程度以内）という制限が緩和されております。

その下の非認証店舗におきましては、酒類の提供の場合は、一定の要件を満たすことというのが要請になっておりますが、この一定の要件というのは、下の※印の亚克力板等の要件が要請されていることとなります。

また10ページ以降につきましては、参考資料の2といたしまして兵庫県の対処方針を添付しておりますので、またご清覧の方をお願い致します。

市長：ありがとうございます。質問等はございませんでしょうか。基本的には、飲食店の規制が緩和されていくということと、国から議論がなされていますけど、マスクについては、基本的には感染しやすい状況というのは3密を筆頭に知見がだいぶ確立されていると思いますので、そのリスクに応じて、マスクをつけましょう。リスクが高くないと思われる場合は、絶対にマスクをつける必要がないというように変わってきているのですが、おそらく学校の方は、保護者の方から色々な意見が、メールが来る状況なので、本来はケースバイケースで、お互いが声をかけあって気になるなら、すいません私は疾患があるのでマスクの着用をお願いします、マスクを外していいですかというようなマナーの世界というのが入ってくるのかなと個人的には思っています。学校は基準を決めていかないと、現場がかなり混乱し大変じゃないかと思えます。また保育所もメールが来ていたかと思えます。そういうところは一定の統一的なものがないと、また混乱するのではないかと心配しておりまして、そのあたりは担当の方でしっかり今回出された内容に沿って対応を丁寧にしていただければと思いますが、市として判断しないといけないことがもしあれば声をかけていただいて協議したいと思えます。一応、皆さん降りてきているガイドラインに沿って粛々とやるという

感じでよいのですかね。

教育次長：教育委員会といたしましては、文部科学省の方から、5月24日付けで通知が来ましたので、それに基づいて5月26日付けですべての学校において通知しております。また市の対処方針については、学校園のところの1番だったと思いますが、マスクの着用を奨励しておりという文言が入っておりましたので、このへんは少し緩和されておりますので、修正を加えたいと思っております。

市長：新しい基準も一定の考え方に基づいて決められている訳で、そのことについて内容も含めて生徒達や保護者と共有するということが大事なのかなと思います。

バラバラと問い合わせに答えていくのではなく、こういうようにしますと情報として発信していく方がいいのではないかと思います。

保育所の方はどうですか？

こども青少年局：こども家庭局の方から文書やリーフレットが届いております。5月26日に法人の方にも送っております。国が言っていることは既に行っており、一律には求めておりませんので、極端なケースを望むような親でなければクリアできていると思います。

市長：ありがとうございます。当然、価値観も多様化していくタイミングになりますので、丁寧に対応できればと思います。

では、その他どんなことでも結構です。新型コロナ対策本部員会議として何か皆さん発言ございましたら発言をお願い致します。

総務局：今回の対処方針の変更を受けまして、人事管理部長名で文書を準備しているところです。連休明けから見ましても、職員の陽性者数はだいたい10人前後で推移しております。その後、変化はございません。引き続き職場での感染対策を十分していただきたいと思っています。

市長：ありがとうございます。おそらく家庭内感染が多いのかなと思いますが、職場でクラスターになっていることはないですよね？家庭での感染がなかなか100%防ぐのは難しいと思いますが、職場の中で、複数人かからないように、濃厚接触者にはならないように引き続きしっかりと継続的に取り組んでいきましょう。ただ会話をしなくて、距離がある場合は、マスクを外していいよという点については、私たちも臨機応変に行っていきましょう。

他に発言はございませんでしょうか？

それでは、比較的落ち着いているとはいえ1日100人を超える患者さんが発生している日も続いております。保健所を含め現場の皆さんは色々大変だと思いますが、引き続き頑張っていきたいと思っています。それでは第36回新型コロナウイルス感染症対策本部会議を終了させていただきます。

以 上